

令和5年11月6日

各位

証券経済学会北海道部会

2023年度第2回（通算第5回）例会のご案内

そろそろ降雪の時期となりますが、皆様におかれましてはご清栄のことと存じます。

さて、今年度第2回目例会を以下のように企画しました。これまで同様対面形式で実施する予定です。参加をご希望される方は2023年12月1日（金）までに、山口博教授にてご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：2023年12月8日（金）17：00～19：00

会場：札幌証券取引所2階大会議室（札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1）

開会挨拶（17：00～17：05）

第一報告：（17：05～17：45報告、17：45～18：00質疑・討論）

発表者名：南ホ Chol（北星学園大学経済学部 准教授）

報告題名：「AI関連企業のコーポレート・ファイナンス」

報告要旨：「ChatGPTで有名なOpenAI社は、Microsoft社から約100億ドル（約1.5兆円）に上る巨額の資金を調達し、投資やビジネスを行っている。本報告ではAI（人工知能）関連企業について、コーポレート・ファイナンスの観点から、莫大な金額を擁する投資の現状、資金調達、そして資金還元を考察する。」

第二報告（18：00～18：40報告、18：40～18：55質疑・討論）

発表者名：土井信彦（北海道財務局総務部 経済調査課長）

報告題名：「エスコンフィールド開業など話題豊富な2023年の道内経済、その回顧と展望」

報告要旨：「北海道経済は新型コロナウイルスの5類移行に伴い、人流の増加や観光客の回復とともに、エスコンフィールド開業や札幌市内再開発に伴う効果もあり、緩やかに持ち直しているところである。一方で、物価上昇や海外経済の減速には懸念する必要がある。このような2023年の北海道経済を回顧するとともに、今後の見通しを展望する。」

閉会挨拶（18：55～19：00）

参加申し込み・お問い合わせ先：証券経済学会北海道部会幹事 山口博教

z00161@hokusei.ac.jp